

会 長 殿
理事・監事・運営委員 殿
各県自衛隊家族会会長 殿

家族会事 8 号
R 8. 2. 6
公益社団法人自衛隊家族会
事務局 長 阿部 知己

令和 8 年 2 月「月 報」

1 はじめに

1 月 14 日、ホテル・グランドヒル市ヶ谷において、自衛隊家族会、隊友会の二団体共催の賀詞交歓会を開催しました。

防衛問題に深いご理解を示される国会議員の皆様、防衛省高官、友好団体、二団体の活動に共鳴してくださる賛助（特別）会員、在日駐在武官等が出席する中、木原稔内閣官房長官をお迎えし、お言葉をいただきました。

賀 詞 交 歓 会



さて、第 5 1 回衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査の投票日は 2 月 8 日です。ご存じのように、当日投票所へ行けない場合でも、不在者投票や期日前投票の手段がありますので、選挙権の行使をよろしくお願いします。

.....

皆様に大きな関心を持っていただいていたミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックは 2 月 6 日から 22 日の日程で開催されますところ、防衛省・自衛隊所属の選手は代表に選考されませんでした。まことに残念ではありますが、他の大会や次回オリンピック等での活躍を願いつつ、今大会に出場する日本を代表する選手を応援することといたしましょう。

2 防衛省・自衛隊の活動(省等 Web より)

(1) 1 月 11 日、小泉防衛大臣は、

陸上自衛隊習志野演習場において、

第 1 空挺団による令和 8 年降下訓練始めを視察し、隊員を

激励しました。あいにくの強風で空挺降下は中止となりましたが、

今年の降下訓練始めは過去最多の計 14 か国の同盟国・同志国等が

参加し、極めて大規模な多国間交流の場となりました。

自衛隊員、家族を守り抜く決意で
ともに頑張ろう！



高さ 11m の「跳び出し塔」から跳ぶ大臣



(2) 災害派遣

連日乾燥注意報や強風注意報が発表された 1 月、多くの林野火災が派生し、自衛隊が災害派遣で活動しました。

ア 1月8日、山梨県上野原市扇山において林野火災が発生し、山梨県知事から陸自北富士駐屯地司令（東部方面特科連隊長（北富士・山梨県））に対し、空中消火活動に係る災害派遣要請があり、9日1130



以降、陸自第12ヘリコプター隊（相馬原・群馬県）、陸自第1ヘリコプター団（木更津・千葉県）及び陸自第1飛行隊、東部方面航空隊（立川・東京都）が空中消火活動等を実施しました。12ヘリ隊と1ヘリ団の

CH-47それぞれ2機が空中消火に当たり、

1飛のUH-1×2機がそれぞれ空中統制と人員輸送、東方航空隊のUH-1×1機が映像伝送に当たり、21日1454、じ後の対応は自治体で可能となったことから、山梨県知事から東部方面特科連隊長に災害派遣撤収要請があり、活動を終了しました。活動間の散水は4,495トンに及びました。

（※CH-47が装備している消火用のバケットの容量は7.5トンとのことです。）

イ 1月11日、神奈川県秦野市において林野火災が発生し、神奈川県知事から陸自第1師団長（練馬・東京都）に対し、空中消火活動に係る災害派遣要請があり、12日0645以降、1ヘリ団、12ヘリ隊、及び東方航空隊が空中消火活動等を実施しました、13日1240に秦野市が鎮圧を宣言し、1400に



神奈川県知事から第1師団長に対し災害派遣撤収要請があり、活動を終了しました。

12ヘリ隊と1ヘリ団のCH-47計2機が空中消火に当たり、東方航空隊のUH-1×2機が空中統制と映像伝送に当たり、約35トンの散水を実施しました。

ウ 1月11日、群馬県桐生市において林野火災が発生し、群馬県知事から陸自第12



旅団長（相馬原）に対し、空中消火活動に係る災害派遣要請があり、11日1600以降、12ヘリ隊、東方航空隊が空中消火活動等を実施しました。12日1010、じ後の対応は自治体で可能となったことから、群馬県知事から第12旅団長に対し災害派遣撤収要請があり、活動を終了

しました。12ヘリ隊のCH-47×2機が空中消火、東方航空隊のUH-1×1機が映像伝送に当たり、約40トンの散水を実施しました。

エ 1月17日、静岡県藤枝市において林野火災が発生し、静岡県知事から陸自第34普通科連隊長（板妻・静岡県）に対し、消火活動に係る災害派遣要請があり、18日0650以降、1ヘリ団、1飛、東方航空隊が、空中消火活動等を実施しました。

23日1105藤枝市が鎮圧を宣言し、静岡県知事から



34 普連隊長に対し災害派遣撤収要請があり、活動を終了しました。

1 へり団のCH-47×2機が空中消火に当たり、275トン水を散水。

1 飛及び東方航空隊UH-1各1機が空中統制、東方航空隊のUH-1×1機が映像伝送に当たりました。

オ 1月25日、群馬県藤岡市において林野火災が発生し、群馬県知事から陸自第12旅団長に対し、空中消火活動に係る災害派遣要請があり、同日1420以降、12へり隊及び東方航空隊が空中消火活動等を実施しました。



関係機関と現地調整

12へり隊のCH-47×2機と1へり団のCH-47×1機が空中消火に当たり、275トン水を散水。



12へり隊のUH-1×1機が空中

統制、東方航空隊のUH-1×1機が映像伝送に当たりました。

28日0745、じ後の対応は自治体で可能となったことから、群馬県知事から第12旅団長に対し災害派遣撤収要請があり、活動を終了しました。

カ 1月30日、宮崎県小林市において林野火災が発生し、宮崎県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本県）に対し、空中消火活動に係る災害派遣要請があり、同日1602以降、陸自西部航空方面隊（目達原・佐賀県）のUH-1×2機が航空偵察を実施しました。同日、自治体が鎮圧を宣言し、1700に宮崎県知事から第8師団長に対し災害派遣撤収要請があり、活動を終了しました。



（3）宮崎市で不発弾処理

1月17日、西部方面後方支援隊第104不発弾処理隊（目達原）は、宮崎市で1月5日に見つかった戦時中のものとみられる不発弾を処理しました。

現場は宮崎市役所の南東約100メートルで、近くに住宅が立ち並ぶ宮崎市中心部の大淀川の河川敷で、住民約1700人に避難指示が出されました。陸自は午前11時から作業を開始し、約2時間で信管を取り除き、処理を終えました。不発弾は全長約1.2メートル、直径約33センチの250キロ爆弾で、米国製だったとのことです。

（4）ウクライナ負傷兵の日本における医療支援で表彰



自衛隊中央病院などで、これまで17名のウクライナ負傷兵に対して義足・義手の提供やリハビリテーションを行ってきたところ、これに貢献した自衛隊員などに対し、ウクライナ国防大臣に代わり、駐日ウクライナ大使よりメダルが授与されました。

3 家族会の活動

(1) 令和8年二団体共催賀詞交歓会



宮崎 防衛副大臣

昨年まで自衛隊家族会、隊友会、日本郷友連盟の三団体の共催で開催していましたが、今年から自衛隊家族会と隊友会の二団体の共催となりました。国旗に敬礼、国歌斉唱、黙とうの後、二団体を代表して隊友会岩崎理事長が開会の挨拶を述べ、木原稔内閣官房長官にご挨拶をいただきました。



引き続き、宮崎政久防衛副大臣、若林洋平防衛大臣政務官にご挨拶いただき、前／元政務三役、国会議員をはじめとする来賓紹介の後、齋藤海上幕僚長の乾杯で

開宴し、出席者互いに挨拶を交わし、今年の発展を相互に祈るうちに自衛隊家族会増田会長の万歳三唱でお開きとなりました。



若林 防衛大臣政務官



齋藤 海幕長の乾杯

お忙しい中ご出席くださった皆様、有難うございました。

(2) 各地で小泉防衛大臣と懇談等

小泉防衛大臣が各自衛隊駐屯地・基地等を視察するにあたり、自衛隊家族会をはじめ関係団体代表と意見を交換し、また隊員家族と懇談して隊員やその家族の置かれている現状や様々な気持ちの把握に務められているのは1月「月報」や報道等の通りです。大宮駐屯地、那覇駐屯地、新田原基地、習志野演習場での様子を紹介いたします。



↑ 斎須埼玉県会長



古門沖縄県会長 ↑

柳田宮崎県会長 →



左から杉浦千葉市家族会事務局長
大臣、安部千葉県会長
永田千葉市家族会理事

(3) 部隊見学

11月22日、浜松自衛隊家族会は陸自板妻駐屯地（御殿場市）で駐屯地を見学し、隊員を激励しました。この日は板妻駐屯地創立63周年記念行事（11月23日）に先立って開催された「隊員家族の日」で、各種展示やイベントが行われ、静岡地本浜松出張所の広報官の引率のもと、家族会員41人が参加しました。



記念式典と訓練展示を見学した後に浜松市、湖西市出身の隊員を激励し、地元の話や近況報告等で盛り上がり、和やかな懇談の時間を過ごしました。

(4) 家族支援協定書を締結

ア 11月26日、札幌自衛隊家族会札幌市地区協議会は、陸自苗穂分屯地（分屯地司令金子1陸佐）との家族支援協定書を締結しました。札幌市内所在駐屯地のうち、札幌駐屯地とは中央区・西区・手稲区支部が、真駒内駐屯地とは南区・豊平区・清田区支部が、丘珠駐屯地とは東区・北区支部がそれぞれ既に平成29・30年に締結済みで、今般苗穂分屯地と白石区・厚別区支部が締結できたところです。締結に当たり金子司令から「協定の実効性を高めるためにも来年度から家族支援訓練（安否確認訓練）をやって行きましょう」、とのお言葉を頂きました。



左から坊原総務課長、金子司令、牧野地区協議会長、田畑厚別区支部長

イ 1月30日、兵庫県自衛隊家族会と兵庫県隊友会は、海自阪神基地隊（司令桐生1海佐）で家族支援活動協定書締結式、記念植樹、記念会食に臨みました。協定書は昨年初旬から計画を進め、有事の際に対応できるように各駐屯地毎に進めている家族支援活動訓練同様に阪神基地隊とも訓練を重ねてゆく事を合意しました。協定書締結式の後、出席者全員で庁舎正面の芝生（将来の基地隊の改装に影響が無い、また全ての来隊者が絶対に目にする一等地）にヤマサクラの苗を記念植樹し、その後、「記念会食（海自、金曜日はカレー）」として阪神基地隊の自慢の牛スジカレーを頂きながら貴重な意見交換を行いました。



記念植樹

高木兵庫県会長
桐生阪神基地隊司令
小川兵庫県隊友会長



(5) 第25次派遣海賊対処行動支援隊を激励

1月18日、第7師団第11普通科連隊（東千歳駐屯地）基幹の約80名の隊員が千歳空港から出国し、半年間の任務に就きました。

日川道央家族会長が第7師団長を激励訪問した他、会員有志が出発式で隊員を見送り、激励しました。



(6) 第53次派遣海賊対処行動水上部隊を激励



1月26日、海自第3護衛隊群第7護衛隊 護衛艦「ゆうだち」（艦長堤2海佐）の200名（海保8名を含む。）が大湊から出港し、海賊対処行動の任に就きました。

野呂青森県家族会長他が激励し、無事の任務遂行をお祈りしました。

(7) 令和8年北方領土返還要求全国大会

2月7日（土）「令和8年北方領土返還要求全国大会」が次のとおり開催されます。

日時： 令和8年2月7日（土）11:00～12:55

場所： 国立オリンピック記念青少年総合センター

例年、内閣総理大臣、外務大臣、北方対策担当大臣をはじめ多くの国会議員が出席、家族会からは、増田会長、各運営委員、首都圏の各家族会員が参加し、運動団体の代表として中畑運営委員が署名活動の現況等について発言する予定です。

参加には「入場整理券」が必要ですが、当日、YouTube ライブ配信がありますので、お知らせいたします。 また、ライブ配信後、約1ヶ月程ご覧いただけます。

本返還運動推進の一助として多くの方々にお知らせくださればと存じます。

YouTube 配信の二次元コード及び URL は次のとおりです。



URL: https://youtube.com/live/Xkbz_36pkBI

(8) 自衛隊家族会「問い合わせ窓口」の集計結果（月間報告）

令和8年1月の問い合わせ件数は、家族会会員からの「相談者や隊員に関する相談」（I分類）1件で、事務局で対応を終了しました。

問い合わせ内容は、「昨春入隊した子息の気象病（＊）が厳しいので、自宅近傍の勤務地に転属できないか」という内容でした。

これに対して、まずは医療機関に受診し、その上で医療行為として転属が必要かどうかの客観的な医師の判断に基づき転属を含めて上司と相談することをコーチングしました。

コーチングとしては極めて常識的な内容です。隊員本人にとっても自衛隊にとっても部隊勤務が始まり仕事に慣れる為の大切な時期であって、勤務地の変更には客観的なエビデンスが必要であることは、人事が各上級指揮官の大切な決裁行為である以上、公平性、正当性の上で当然なことです。一方で、遠方で身体的な不調を訴えるご子息を手許に戻せないかと思うご両親の心情は、十分に理解できます。

何れにしましても不慣れな地で初めての勤務を実施するという精神的に不安定な時期を早く乗り越え、自衛隊の新戦力になられること願うばかりです。

＊気象病：天候の変化によって発生する身体の不調の総称で、頭痛を始めとする様々な症状が現れます。その原因は、気温、湿度、気圧の変動によって、自律神経が乱れることが原因と考えられています。

これまでは余り聞きなれない病名ですが、対象の7割近くが「気象病の症状ではないか」という自覚が有り、更にその中の4分の1の方が学校や仕事を休むなど生活に支障ありという調査結果も有ります。

4 事務局からの連絡・お願い：令和8年度「収支予算書」について

令和8年度収支予算書の報告期限は、2月20日（金）です。

事務局で取りまとめ、3月の理事会での審議、内閣府へ提出する資料の原資料ですので、期限厳守でお願いします。

以上

配布先

防衛省人事教育局長、文書課長、人材育成課長、厚生課長

統合幕僚監部総務部長、総務課長

陸上幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、同総括班長、厚生課長、家族支援班長

海上幕僚監部人事教育部長、人事計画課長、同募集推進室長、厚生課長、

航空幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、募集・援護調整官、募集班長、厚生課長、厚生班長、

陸上総隊司令部総務部長、

各方面総監部人事部長、募集課長、厚生課長、各自衛隊地方協力本部長

各師団・旅団司令部幕僚長